

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	就職講座 I		担当教員	田中 範明	クラス	高度情報処理科2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は前期のビジネス講座を基盤として、後期いよいよ就職活動に必要な、正しい履歴書の書き方や面接スキル向上を重点に就職対策を行います。自分をしっかり表現できる自己PR,志望動機などを段階的に整理をして履歴書やエントリーシートをしっかりと記述できるようにモチベーションを上げていきます。						
評価方法	成績評価	期末試験及び平常授業の取り組み姿勢、出席状況、提出課題の総合成績で評価する					
	評価割合	試験	60 %	課題	0 %	他	40 %
教科書	就職テキスト他			副教材および参考文献	映像資料(専門学校の就職ガイド)とプリント		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	就職活動の心構え①	就職活動そのものや働く意義や心構えを伝える
第2回	就職活動の心構え②	企業の求める人材。身だしなみのポイント
第3回	履歴書とエントリーポイント	履歴書、エントリーシートの書き方を解説する。
第4回	面接練習①	面接の重要さと種類の解説をする。PREP法。担任と共に面接
第5回	面接練習②	面接ロールプレイ
第6回	履歴書記入と写真撮影(予定)	履歴書記入と就職用写真の撮影
第7回	面接練習③	面接ロールプレイ 以降2チームに分かれて面接練習
第8回	面接練習④	面接ロールプレイ
第9回	面接練習⑤	面接ロールプレイ
第10回	面接練習⑥	面接ロールプレイ
第11回	面接練習⑦	面接ロールプレイ
第12回	面接練習⑧	面接ロールプレイ
第13回	面接練習⑨	面接ロールプレイ
第14回	面接練習⑩	面接ロールプレイ
第15回	面接練習⑪	面接ロールプレイ
第16回	期末試験	

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	就職講座Ⅱ		担当教員	大木正臣	クラス	情報システム科1年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	<p>・企業の就職選考試験として取り入れられているCAB・GABの試験対策を行う。CABは、コンピューター職に必要な知的能力が試される4種類のテストと、性格テストで構成されており、SEやプログラマーといった専門職としての適性を見られ、その対策の実施で、希望の会社の就職試験を通過できる力を養うことを目標とする。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	・副教材 : プリント			副教材および参考文献		・「CAB・GAB超速解法」	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回( / )	・ガイダンス	・ガイダンス:CAB/GAB概要
第2回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 暗算①	・暗算 : [01] ~ [25]
第3回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 暗算②	・暗算 : [26] ~ [50]
第4回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 法則性①	・法則性 : [01] ~ [20]
第5回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 法則性②	・法則性 : [21] ~ [30]
第6回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 法則性③	・法則性 : [31] ~ [40]
第7回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 命令表①	・命令表 : [01] ~ [18]
第8回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 命令表②	・命令表 : [19] ~ [28]
第9回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 命令表③	・命令表 : [29] ~ [38]
第10回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 暗号①	・暗号 : [01] ~ [20]
第11回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 暗号②	・暗号 : [21] ~ [30]
第12回( / )	・非言語分野 [ 数学 ] : 暗号②	・暗号 : [31] ~ [40]
第13回( / )	・Webテスト	・Ex1 ~ Ex7
第14回( / )	・GAB: 言語①	・問題1 ~ 問題6
第15回( / )	・まとめ	・総復習/整理
第16回( / )	・期末試験	・期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	ネットワーク		担当教員	渡部 元樹	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	本科目ではネットワークの基礎を学習する。 大卒の仕組みを知る所からスタートし、その後は情報処理技術者能力認定試験2級を視野に入れた内容を扱う。成績は主に期末試験の点数で評価するが、授業内の課題や出席率も評価対象とする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	15 %	他	15 %
教科書	ネットワークがよくわかる教科書			副教材および参考文献		オリジナル教材	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目ガイダンス	この科目の概要、目標等について講義
第2回	プロトコル、アドレス	プロトコルとアドレスについて講義
第3回	進数	2進数、16進数について講義
第4回	TCP/IP、IPアドレス	TCP/IP、IPアドレスについて講義
第5回	IPアドレス、サブネットマスク	IPアドレスの変換及びサブネットマスクについて講義
第6回	サブネットマスク、クラス	サブネットマスク及びクラスについて講義
第7回	前半まとめ	ここまでの振り返り、まとめ
第8回	Ipv4とIpv6	Ipv4とIpv6について講義
第9回	パケット①	TCPパケットIPパケットについて講義
第10回	パケット②	UDPパケット、ARPについて講義
第11回	ルーティング	ルーティングについて講義
第12回	NAT、DNS	NAT、DNSについて講義
第13回	様々なプロトコル①	HTTP、HTTPsについて講義
第14回	様々なプロトコル②	SMTP、POP3、IMAP4sについて講義
第15回	SSL/TLS、VPN	SSL/TLS、VPNについて講義
第16回	期末試験	期末試験を実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	AWS検定		担当教員	沼田 聡暁	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	本講義はAWSのクラウド実習の延長で、AWSの技術や仕組みを中心に講義を行う。問題演習を行いながら、知識の定着を図る。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	AWS認定 クラウド プラクティショナー			副教材および 参考文献		オリジナル	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	AWS認定とは	学習方法について
第2回	AWSクラウドの概念	クラウドアーキテクチャの設計原理
第3回	AWSのセキュリティ①	AWSクラウドのセキュリティ
第4回	AWSのセキュリティ②	AWS ShieldとAWS WAF
第5回	AWSのテクノロジー	グローバルインフラストラクチャ
第6回	コンピューティングサービス①	EC2の概要
第7回	コンピューティングサービス②	Auto Scaling
第8回	ストレージサービス①	EBS
第9回	ストレージサービス②	S3
第10回	中間試験	中間試験
第11回	ネットワークサービス①	VPC
第12回	ネットワークサービス②	CloudFront
第13回	データベースサービス	RDSとDynamoDB
第14回	管理サービス	CloudWatch
第15回	請求と料金	AWS請求モデル
第16回	期末試験	期末試験

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	Javaフレームワーク		担当教員	渡部 元樹	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

授業概要	<p>本科目はフレームワークの考え方や、使い方について知識を深める事、技術力を高める事を目的とし、JavaのフレームワークであるSpringFrameworkを主に扱う。                  基本的な仕組みについて学習後、フレームワークの機能によって効率化される部分について学習していく。                  講義での知識インプット、演習でのアウトプットを繰り返し行う事で知識の定着を図る。                  成績は課題の成果物を主として評価し、出席率及び授業態度も評価対象とする。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	オリジナル教材			副教材および参考文献		オリジナル教材	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス・前期の復習	科目のガイダンスと前期の復習
第2回	基礎固め① コントローラとビュー	コントローラとビューについて復習
第3回	基礎固め② DB連携	DBと連携しCRUDの復習
第4回	JPA① Model	JPAの概要説明及びModelの講義と演習
第5回	JPA② Entity	Entityについて講義と演習
第6回	JPA③ Repository	Repositoryについて講義と演習
第7回	JPA④ これまでの総復習	ここまで扱ったJPAを利用した実践演習
第8回	Spring AOP①	AOPについて講義と演習
第9回	Spring AOP②	JoinPoint、PointCutについて講義と演習
第10回	実践演習① FW移行	既存システムのFW移行について講義と演習
第11回	実践演習② バージョン管理	バージョン管理を用いた複数人での開発について講義と演習
第12回	実践演習③ リリース	Webサーバ上へのDeployについて講義と演習
第13回	課題製作① 設計	テーマに沿ったSpringのシステム構築の設計フェーズ
第14回	課題製作② コーディング	コーディングを中心に制作の続き
第15回	課題製作③ システムテスト	構築したシステムのテストと証跡取り及び提出作業
第16回	課題製作④ 納品とデプロイ	最終的な納品とデプロイ作業

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	WebSocket①	WebSocketの取り扱いについて講義
第18回	WebSocket②	WebSocketの取り扱いについて演習
第19回	WebSocket③	Websocket実践 テキストデータ
第20回	WebSocket④	Websocket実践 メディアデータ
第21回	WebSocket⑤	Websocket実践 シグナリングサーバ
第22回	thymeleaf①	thymeleafについて講義
第23回	thymeleaf②	thymeleafについて演習
第24回	総復習	ここまでの内容を総復習
第25回	課題制作①	取り組み方、ルール説明、チーム決め、テーマ決め
第26回	課題制作②	アプリケーション設計
第27回	課題制作③	実装1回目
第28回	課題制作④	実装2回目
第29回	課題制作⑤	実装3回目
第30回	課題制作⑥	提出と振り返り
第31回	課題制作⑦	他チームへのレビューとフィードバック
第32回	課題制作⑧	リグレッションテスト

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	テスト技法		担当教員	黒瀬 晃秀	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	本科目は網羅率(命令網羅、分岐網羅など)を意識したホワイトボックステスト技法や、境界値分析などのブラックボックステスト技法など、高品質なシステム開発のために必要なテスト技法の基礎知識を修得する。 また、「なぜそのテストケースを実施するのか」を説明するための知識を、グループ演習をとおして修得する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	ソフトウェアテスト実践			副教材および参考文献		なし	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	授業ガイダンス	授業ガイダンスと環境構築
第2回	システム開発におけるテスト	テストの考え方と役割について講義
第3回	テストプロセス	テストプロセスについて講義と演習
第4回	ホワイトボックステスト	ホワイトボックステストについて講義と演習
第5回	ブラックボックステスト	ブラックボックステストについて講義と演習
第6回	同値分割法	同値分割法について講義と演習
第7回	境界値分析法	境界値分析法について講義と演習
第8回	制御フロー・データフロー	制御フロー・データフローについての講義と演習
第9回	ドライバとスタブ	ドライバとスタブの利用について講義と演習 単体テスト
第10回	ドライバとスタブ	ドライバとスタブの利用について講義と演習 結合テスト
第11回	ソフトウェアテスト実践①	ソフトウェアテスト実践の概要
第12回	ソフトウェアテスト実践②	環境構築
第13回	ソフトウェアテスト実践③	単体テストの実施
第14回	ソフトウェアテスト実践④	結合テストの実施
第15回	総まとめ	総復習/整理
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	データベース応用	担当教員	大石 有里	クラス	高度情報処理科 2年		
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	広く利用されているDBMSである「MySQL」の習熟度を高める事を目的とする。 これまでの授業で扱ったDMLだけでなく、DDLやDCLも扱い、DB構築面の技術について学習する。実務を意識して、部分的ではあるがDB設計から構築までの流れを追う形で学習を進める。また、UIに頼らずにCUIベースでもDBを扱えるようにする。卒業制作や内定先の会社にて、即戦力となれる技術の取得を目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	30 %	他	0 %
教科書	なし		副教材および 参考文献		オリジナル資料		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	授業ガイダンスと環境確認	環境確認
第2回	SQLの種類	DDL・DCL・DMLについて/基本的なSQLの復習
第3回	CRUD	CRUDについて
第4回	DBの作成①	データベースの作成・テーブルの作成
第5回	DBの作成②	データベースの作成・テーブルの作成(続き)
第6回	DBの作成③	テーブルの変更・テーブルの削除
第7回	DBの作成④	ユーザとスキーマの考え方
第8回	DBの作成⑤	ユーザの権限設定
第9回	テーブル結合	テーブル結合によるデータ取得
第10回	CUIによる操作	CUIによるDB操作の方法
第11回	トランザクション①	トランザクションの考え方
第12回	トランザクション②	COMMITとROLLBACK
第13回	総合演習①	DBの構築(仕様説明)
第14回	総合演習②	DBの構築(ユーザ作成と権限設定)
第15回	総合演習③	DBの構築(テーブル作成とデータ投入)
第16回	期末試験	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	AI演習		担当教員	根本 航太	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	画像認識モデル作成しデータの収集から前処理、可視化、データの解釈、モデルの学習、モデルの評価の一連の流れを体験する。 チームを組んでAIの精度をどのように上げるかをディスカッションをすることで発言力や傾聴力を養い、AI関連の知識以外の能力の向上を目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	50 %	他	0 %
教科書	AI・機械学習実践			副教材および参考文献		scikit-learn User Guide	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	演習の流れの説明
第2回	入力画像形式	MNIST画像を読み込み、データの形式を確認する
第3回	画像の加工	データ数を増やすための工夫
第4回	画像の作成	手書き画像データの作成と取り込み
第5回	画像の変換	GIMPを使った手書き画像データの編集方法
第6回	作成した画像の取り込み	手書き画像データをpythonで確認する
第7回	CNNの概要	CNNの概要の説明
第8回	CNNの実装	CNNで画像分類モデルを作成する
第9回	画像データの統合	MNISTと手書き画像を統合する
第10回	モデルの保存	モデルの保存の仕方を学ぶ
第11回	チーム演習①	役割決め 方針決め
第12回	チーム演習②	画像データを増やすための工夫を考える
第13回	チーム演習③	CNNの層の取り方を考える
第14回	チーム演習④	資料作成
第15回	成果発表	各チームで工夫した点を発表する
第16回	期末テスト	期末テストの実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	C言語演習		担当教員	千野 正登	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	C言語の文法とコンピューターの仕組みを教科書を通し学習し、今後さらにプログラム技術を深く学習していくための基礎を築く。また演習を通してプログラムによるモノづくりの楽しさも学び、C言語を使用したコンソールアプリケーション開発の実践力を身に着ける。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	10 %	他	10 %
教科書	入門ANSI-C			副教材および参考文献		無し	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	授業オリエンテーション	授業概要説明。プログラムとは
第2回	C言語とは	C言語の歴史、特徴、Cプログラムの概要
第3回	Cプログラムの基礎	定数、変数について学習
第4回	Cプログラムのデータ型	基本データ型、修飾子、別名定義、列挙型について説明
第5回	入出力	画面への出力、キーボードからの入力にやり方について学習
第6回	演算子	代入演算子、算術演算子、++、--、キャスト演算子の解説
第7回	分岐①	if文と関係演算子の学習
第8回	分岐②	if-else文、論理演算子の学習
第9回	分岐③	switch文の学習
第10回	繰り返し①	for文の学習
第11回	繰り返し②	while文、do-while文、break文、continue文の学習
第12回	関数①	C言語の関数、main関数、関数の書式について解説
第13回	関数②	関数の書き方、プロトタイプ宣言について解説
第14回	関数③	関数の作り方、呼び出し方について学習
第15回	C言語基礎まとめ	C言語基礎復習、試験前対策
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	Vue.js演習		担当教員	末原昭彦	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	JavaScriptフレームワークであるVue.jsについて扱う。 基本的な扱い方について学んだ後、シングルページアプリケーション構築を行う。 知識、基礎をインプットし、演習問題にてアウトプットを行い、技術の定着を図る。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	20 %	他	20 %
教科書	これからはじめるVue.js 実践入門			副教材および 参考文献		なし	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目ガイダンス	科目ガイダンス、環境構築
第2回	vue.js基本文法とJqueryとの違い	文法について講義、演習を行う。
第3回	ディレクティブ① イベント	イベントとイベントハンドラの扱いについて講義、演習
第4回	ディレクティブ② バインディング	双方向バインディングについて講義、演習
第5回	コンポーネント① 定義について	コンポーネントの定義について講義、演習
第6回	コンポーネント② 登録について	コンポーネント登録の種類、方法について講義、演習
第7回	コンポーネント③ 通信について	コンポーネント間の通信について講義、演習
第8回	コンポーネント④ まとめ	①～③のまとめと振り返り演習
第9回	中間課題	ディレクティブとコンポーネントを利用した制作課題
第10回	ルーティング① 概要説明	ルーティングの概要について講義
第11回	ルーティング② 導入	ルーティング導入&サンプルページ作成
第12回	ルーティング③ ルートパラメータ	ルーティングパラメータ生成について講義、演習
第13回	ルーティング④ 非同期ロード	非同期ロードについて講義、演習
第14回	制作課題① 設計	要件を満たしたアプリの設計
第15回	制作課題② 開発	実装フェーズ
第16回	期末試験	期末試験の実施

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	進級制作		担当教員	石濱 友裕	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	後期	履修コマ数	3 コマ/週	授業形態	演習	単位数	3

授業概要	<p>この科目は、高度情報処理科で学んだ知識と技術を活かし、更に新しいことにチャレンジし、現時点での集大成といえるようなシステムやプログラムを制作する。 また、就職活動が本格化する直前の制作であるため、自身の就職活動でアピールできるような制作物を自ら設定し、主体的に取り組むことを進め方の基本とする。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	なし			副教材および参考文献	ドキュメント見本(企画書・画面設計書・画面遷移図・内部設計書・概要書他)		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	進級制作ガイダンス	アプリケーション開発の流れ、スケジュール、ドキュメント
第2回	基本計画(1)	企画書の作成 担当割決め
第3回	基本計画(2)	企画書の作成 草案作成
第4回	基本計画(3)	企画書の作成 スケジュール作成
第5回	基本計画(4)	企画書の作成 企画の目的
第6回	基本計画(5)	企画書の作成 企画の全体像
第7回	基本計画(6)	企画書の作成 現状分析
第8回	基本計画(7)	開発環境確認
第9回	基本計画(8)	開発環境設定
第10回	外部設計(1)	システムフローの作成
第11回	外部設計(2)	機能一覧の作成
第12回	外部設計(3)	画面設計書・画面遷移図の作成
第13回	外部設計(4)	ER図の作成
第14回	外部設計(5)	CRUD表の作成
第15回	外部設計(6)	外部設計レビュー・修正など
第16回	内部設計(1)	プログラム一覧の作成

	講義計画	実施細目
第17回	内部設計(2)	クラス図の作成
第18回	内部設計(3)	シーケンス図の作成
第19回	内部設計(4)	DB項目定義書の作成
第20回	内部設計(4)	内部設計レビュー・修正など
第21回	中間発表準備(1-1)	発表資料作成(PPT)
第22回	中間発表(1)	中間発表 1日目グループ
第23回	中間発表(2)	中間発表 2日目グループ
第24回	中間発表(3)	中間発表 3日目グループ
第25回	プログラム作成(1-1)	開発環境構築及び調査作業
第26回	プログラム作成(1-2)	プログラム部分の簡易フロー作成
第27回	プログラム作成(1-3)	実装作業を受け、設計書とのズレを修正
第28回	プログラム作成(1-4)	現時点でのコードレビュー
第29回	プログラム作成(1-5)	レビューのフィードバックを受け、プログラムの修正
第30回	プログラム作成(1-6)	新規プログラムの作成
第31回	プログラム作成(2-1)	外部設計書に基づき制作:モジュール計画
第32回	プログラム作成(2-2)	外部設計書に基づき制作:モジュール分割
第33回	プログラム作成(2-3)	外部設計書に基づき制作:モジュール一覧作成
第34回	プログラム作成(2-4)	外部設計書に基づき制作:モジュールI/F一覧作成
第35回	プログラム作成(2-5)	外部設計書に基づき制作:モジュールI/F作成
第36回	プログラム作成(2-6)	内部設計書に基づき制作:フローチャート作成
第37回	プログラム作成(2-7)	内部設計書に基づき制作:mainのコーディング
第38回	プログラム作成(2-8)	内部設計書に基づき制作:ドライブのコーディング
第39回	プログラム作成(2-9)	内部設計書に基づき制作:スタブのコーディング
第40回	プログラム作成(2-10)	内部設計書に基づき制作:mainの単体テスト
第41回	プログラム作成(2-11)	内部設計書に基づき制作:ドライブ、スタブの単体テスト
第42回	プログラム作成(2-12)	内部設計書に基づき制作:結合テスト
第43回	プログラム作成(2-13)	内部設計書に基づき制作:システムテスト
第44回	本発表準備(1-1)	本発表に向けてリハーサル(デモンストレーションなし)
第45回	本発表準備(1-2)	本発表に向けてリハーサル(デモンストレーションあり)
第46回	本発表(1)	本発表 1日目 1日目の講評
第47回	本発表(2)	本発表 2日目 2日目の講評
第48回	本発表(3)	本発表 3日目 3日目の講評及び全体の講評